

公募に関するQ&A

「風力発電等技術研究開発／洋上風力発電等技術研究開発／浮次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究（風力発電にかかるサプライチェーン強靱化に向けた技術動向調査）」

資料名	問	答
仕様書	「（１）サプライチェーン強靱化を見据えた技術開発動向調査」については海外企業へのヒアリングも含むという理解でいいか。	海外企業も含んでいただいて構いません。それらの想定も含めて、ご提案ください。
	「（１）サプライチェーン強靱化を見据えた技術開発動向調査」の企業へのヒアリングは何件くらいを想定しているか。	NEDOとして指定する件数はございません。
	ヒアリングにはNEDOも同行するのか。	同行をお願いさせていただく場合がございます。なお、同行によって調査に支障がある可能性がある場合等は個別にご相談させていただきます。
	予算内であれば、海外へのヒアリングも可能か。	可能です。
	NEDO事業に参加した事業者へのヒアリング依頼の仲介はNEDOに依頼できるか。	必要に応じて、連絡先の提供（ただし、先方の了解が得られた場合に限る）も可能です。
	先行事業で作成されているロードマップ案は、事前に公開してもらえないか。できない場合、採択後すぐに共有してもらえるか。	公募期間中は「洋上風力の産業競争力強化に向けた技術開発ロードマップ（2021年4月）」をご参照願います。現在検討中のロードマップ案（上記の改訂検討資料）については、採択後、迅速に共有させていただきます（ただし、資料の取り扱いに一部制限をかけさせていただく場合がございます）。
	（2024年度の事業期間が短いことに鑑み）中間報告は、2025年度に向けた作業方針を示す程度でもいいか。	短期間とはなりますが、年度内に調査した情報及び委員会にて議論した内容を基に、ご報告いただくことを想定しています。
	最終報告の内容が中間報告から大幅に変わることは想定されているか。	中間報告後の調査結果や委員会での議論結果を踏まえ、大幅に変わることもあり得ると考えています。
	「（４）技術委員会及びワーキンググループの設置・運営」について、開催頻度が2024年度内に3回程度とありますが、これは必須か。	現時点では、進め方に関する議論で１回、調査内容を基にした議論で１～２回実施することを想定しています。ただし、実施回数については、あくまでも目安であり、実施回数については提案内容を踏まえつつ、採択後個別に協議させていただくことを想定しています。
公募要領	「（４）技術委員会及びワーキンググループの設置・運営」について、委員は提案の中で案を提示するのか。それともNEDOで想定している委員はいるか。	委員についても、適切と思われる委員をご提案いただくようお願いいたします。なお、採択後、委員選定にあたっては提案内容を踏まえつつ、個別に協議させていただくことを想定しています。
	予算額は税込み額か。	ご認識の通りです。
その他	e-Rad応募内容提案書が必要となるが、e-Radへの応募内容の登録方法について、説明した資料はないか。	e-Radの登録方法については、e-Radポータルサイトをご参照ください。